

Q 町政運営の基本姿勢と行財政改革を問う

A 住民全体の行革の取り組みを実現したい



中倉 毅議員

今後でも単独で自立を目ざすのか。

単独で自立をめざす

町長

住民投票条例による住民投票の結果を尊重し、厳しい行財政改革に取り組みたい。

財政的目標数値は

中倉議員

財政的に自立するためには、自主財源、実質収支、経常収支、財政力指数、公債費、起債制限な

どの比較する指数があるかどうか。

財政計画で示している

町長

自主財源等をふまえて町財政計画を作成したが、国、県の動向が不透明な部分もあるので今後さらに見直しをしながら単独での財政計画をつくりたい。

税収を増やす手段は

中倉議員

税収を増やす手段として、町有地の有効利用、宅地造成、ゴルフ場の利用促進、未納税の徴収などがあるがいかがか。

法的手段で取り組む

町長

1億2千万円未収対策に法的手段で取り組む。町有地の活用等課税客を増やすと共に未収対策に専門員を任命する。

財政改革の削減目標は

中倉議員

今回の財政改革の削減目標は、いくらだったか。

補助金8百万円削減

町長

肥大化している行財政を見直してスリム化、効率化をはかりたい。

特別職の手当削減は

中倉議員

特別職の手当の削減をなぜしなかったのか。

給料だけの削減で町民の理解を得られる

町長

私の給料20%、三役の給料15%を減額して、今年1月より実施しており、これで町民の理解を得られると思っていますので手当までは減額しなかった。

消防団員と公民分館長の報酬は

中倉議員

特に消防団員と公民分館長の報酬は、その役割の重大さから考えて削減すべきでないと考えるが。

一律5%削減

町長

各団体、委員などの報酬は、一律5%削減したい。このことは行政改革

調査専門委員会からも5%減が望ましいという回答をいただいた。このことから住民全体の行革への取り組みを実現したい。

基金（貯金）の状況と普通建設事業費の推移

